

# プログラム

第1日目 2019年4月19日(金)

## 第1会場 (2F 講堂)

開会式・総会・評議員会 9:00～9:25

シンポジウム1 9:30～10:55

座長：上野 武治 (社会福祉法人さっぽろひかり福祉会)  
柳 尚孝 (森の木ファーム株式会社多機能型事業所クラシカラ)

### 北海道におけるピアサポート活動の現状

SY1-1 地域精神医学農村型の展開 ～約10年間のピアサポート活動を振り返って～

○土田 正一郎  
JA北海道厚生連 俱知安厚生病院 精神神経科

SY1-2 スポーツがあるということ

○井上 誠士郎  
石金病院

SY1-3 ピアとの協働で体感すること ～『地域移行』と『ピア茶話会』などを通して

○阿部 幸弘  
公益財団法人北海道精神保健推進協会 こころのリカバリー総合支援センター

SY1-4 ピアスタッフとの関わりの意義

○吉田 匡伸  
医療法人社団楽優会 札幌なかまの杜クリニック

教育講演1 11:00～12:00

座長：鈴木 道雄 (富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座)

### 統合失調症画像研究の最近の進歩と今後の展望

村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座精神医学分野

ランチョンセミナー1 12:15～13:15

共催：アステラス製薬株式会社

座長：尾崎 紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学分野)

### 統合失調症の病像変遷

LS1 統合失調症の病像変遷

○阿部 隆明  
自治医科大学とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科

**特別講演1** 13:25～14:25

座長：丹羽 真一（福島県立医科大学 会津医療センター精神医学講座）

## The road to recovery – the role of cognition and its treatment

Til Wykes

Psychology Department, Institute of Psychiatry, Psychology and Neuroscience, King's College London,  
United Kingdom

**シンポジウム3** 14:25～15:50

座長：丹羽 真一（福島県立医科大学 会津医療センター精神医学講座）

池淵 恵美（帝京大学医学部精神神経科学講座）

## 統合失調症の人が社会で生活する力を高める精神科臨床サービス

**SY3-1** 共に「リカバリー」を目指す精神科病院リハビリテーション部の取り組み

○小林 理子

医療法人社団 林下病院

**SY3-2** デイケアで社会生活のステップアップを目指す

○内野 俊郎

久留米大学医学部神経精神医学講座

**SY3-3** 地域の福祉事業所で共に働き、ともに生きる

○岩崎 香

早稲田大学

**SY3-4** 訪問・アウトリーチで危機を乗り越える

○西尾 雅明

東北福祉大学せんだんホスピタル

東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科

**教育講演2** 15:50～16:50

座長：福田 正人（群馬大学大学院医学系研究科 神経精神医学）

## 統合失調症とは何か

古茶 大樹 聖マリアンナ医科大学 神経精神科学

## 重度かつ慢性統合失調症患者への対応と予防

### PPST-1 統合失調症における再発～治療抵抗性への寄与と予防戦略～

竹内 啓善 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室

### PPST-2 重度かつ慢性統合失調症患者の地域移行支援

水野 謙太郎 医療法人如月会 若草病院

## 第2会場 (1F小講堂)

## シンポジウム2 9:30～10:55

座長：鬼塚 俊明 (九州大学病院 精神科神経科)

橋本 直樹 (北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室)

## 統合失調症の生理学的研究

### SY2-1 統合失調症を対象とした脳磁図による安静時神経ネットワークの検討

○武井 雄一<sup>1)</sup>、田川 みなみ<sup>1,2)</sup>、加藤 隆<sup>1,3)</sup>、須藤 友博<sup>2)</sup>、大城 武史<sup>1,4)</sup>、櫻井 敬子<sup>1)</sup>、  
福田 正人<sup>1)</sup>

1) 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教室、2) 群馬県立精神医療センター

3) つつじメンタルホスピタル、4) 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻

### SY2-2 統合失調症の眼球運動研究

○森田 健太郎<sup>1)</sup>、三浦 健一郎<sup>2,3)</sup>、藤本 美智子<sup>3,4)</sup>、穴戸 恵美子<sup>5)</sup>、椎野 智子<sup>3,5)</sup>、  
高橋 潤一<sup>6)</sup>、山森 英長<sup>3,7)</sup>、安田 由華<sup>3,8)</sup>、工藤 紀子<sup>3)</sup>、畦地 裕統<sup>3)</sup>、平野 羊嗣<sup>6)</sup>、  
越山 大輔<sup>1)</sup>、岡田 直大<sup>1)</sup>、鬼塚 俊明<sup>6)</sup>、尾崎 紀夫<sup>5)</sup>、笠井 清登<sup>1)</sup>、池田 学<sup>4)</sup>、  
橋本 亮太<sup>3,4)</sup>

1) 東京大学大学院医学系研究科精神医学、2) 京都大学大学院医学研究科認知行動脳科学

3) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

4) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

5) 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学

6) 九州大学大学院医学研究院精神病態医学、7) 地域医療機能推進機構大阪病院

8) 生きる・育む・輝くメンタルクリニック

### SY2-3 統合失調症における機能的MRIと神経生理学的基盤の考察 ～刺激遂行型と安静時の機能的MRIの観点から～

○久我 弘典<sup>1,2)</sup>、鬼塚 俊明<sup>1)</sup>

1) 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

2) 国立病院機構肥前精神医療センター

### SY2-4 統合失調症における聴覚ニューラルオシレーション研究

○平野 昭吾

九州大学大学院医学研究院 精神病態医学

## 「統合失調症薬物治療ガイド」により精神科医療には どのような変化が期待されるか

**LS2** 稲田 健 東京女子医科大学医学部 精神医学講座 准教授  
堀合 研二郎 YPS横浜ピアスタッフ協会  
就労継続支援B型事業所 シャローム港南

### 第3会場 (1F 第1会議室)

## 統合失調症のリハビリと薬物治療

**LS3** 小山 司  
北海道大学 名誉教授  
医療法人重仁会 大谷地病院 臨床研究センター長

## 統合失調症の認知社会機能障害の簡便な測定法

橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

## 第2日目 2019年4月20日(土)

### 第1会場 (2F 講堂)

会長講演 9:00～9:30

座長：笠井 清登 (東京大学医学部附属病院精神神経科)

### 皆でつなぐ・支える・共に歩む

久住 一郎 北海道大学大学院医学研究院精神医学教室

シンポジウム4 9:35～11:00

座長：賀古 勇輝 (北海道大学大学院医学研究院精神医学教室)

渡邊 博幸 (医療法人学友会 木村病院)

### 急性期治療における院内の多職種協働

**SY4-1** 地域で安心して自分らしく暮らすために～多職種・多機関協働による退院支援～

○中山 達也

地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

**SY4-2** 急性期治療における作業療法士の役割と多職種協働

○香山 明美

東北文化学園大学医療福祉学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻

**SY4-3** 心理職の立場から

○小林 清香

埼玉医科大学総合医療センター メンタルクリニック  
東京女子医科大学 神経精神科

**SY4-4** 統合失調症治療に対する薬剤師の関わり(現状と課題)

○石川 修平

北海道大学病院 薬剤部  
北海道大学大学院 薬学研究院 臨床薬剤学

特別講演2 11:10～12:10

座長：久住 一郎 (北海道大学大学院医学研究院精神医学教室)

### 統合失調症治療の4条件—多職種協働治療への期待

西園 昌久 福岡大学 名誉教授

心理社会的精神医学研究所 所長

## Towards resilience with cognitive therapies

LS4

Til Wykes

Psychology Department, Institute of Psychiatry, Psychology and Neuroscience, King's College London,  
United Kingdom

## シンポジウム6 14:50～16:30

座長：夏莉 郁子（やきつべの径診療所）

糸川 昌成（東京都医学総合研究所）

### 当事者を親に持った子供に必要なもの

SY6-1 標準化を超えて

○糸川 昌成

東京都医学総合研究所

SY6-2 当事者は患者さんだけですか？—子どもの立場から感じた家族支援の必要性

○高樹 未歩（仮名）

東京都障害者施策推進委員会

SY6-3 学校精神保健教育の必要性—愛する親の病気を受けとめられる支援を

○吉川 茜

東京都医学総合研究所 統合失調症プロジェクト

SY6-4 調査や活動からみえてきた子どもの生活状況

～安心して支援を求められるようにするために必要なこと～

○土田 幸子

鈴鹿医療科学大学（親&子どものサポートを考える会）

SY6-5 子が、当事者である親を語る時 ～「公表」の重みと研究倫理の壁

○夏莉 郁子

やきつべの径診療所

## 閉会式 16:30～16:45

シンポジウム5 9:15～11:05

座長：稲田 健 (東京女子医科大学医学部 神経医学講座)  
市橋 香代 (東京大学医学部附属病院精神神経科)

統合失調症薬物治療ガイド —患者さん・ご家族・支援者のために—

SY5 当事者・家族・支援者と活用する統合失調症薬物治療ガイドの普及にむけて

稲田 健 東京女子医科大学 医学部精神医学講座  
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部  
堀合 研二郎 YPS横浜ピアスタッフ協会、就労継続支援B型事業所 シャローム港南  
加藤 玲 新宿フレンズ  
市橋 香代 東京大学医学部附属病院 精神神経科  
藤井 哲也 YPS横浜ピアスタッフ協会  
よしみ 佐藤 (仮名) 札幌リラの会  
池田 キュア (仮名) 札幌リラの会  
橋本 直樹 北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野精神医学教室

ランチョンセミナー5 12:25～13:25

共催：ルンドベック・ジャパン株式会社

座長：夏苺 郁子 (やきつべの径診療所)

私を元気にさせてくれた、家族会と当事者の皆さんを紹介します！

LS5 岡林 郁子 横浜市精神障害者家族連合会常任理事・旭区家族会会長・私設横浜夏苺応援団 団長  
鷹野 薫 横浜市精神障害者家族連合会監事・青葉区家族会会長・私設横浜夏苺応援団 副団長  
堀合 悠一郎 YPS横浜ピアスタッフ協会、就労継続支援B型事業所 シャロームの家  
堀合 研二郎 YPS横浜ピアスタッフ協会、就労継続支援B型事業所 シャローム港南  
藤井 哲也 YPS横浜ピアスタッフ協会  
夏苺 郁子 やきつべの径診療所

座長：河西 千秋（札幌医科大学医学部神経精神医学講座）  
川崎 康弘（金沢医科大学 精神神経科学）

## 統合失調症の自殺予防

### SY7-1 統合失調症の自殺リスクについて

○大塚 耕太郎<sup>1,2)</sup>、河西 千秋<sup>3)</sup>

1) 岩手医科大学神経精神科学講座、2) 岩手県こころのケアセンター、3) 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

### SY7-2 入院中の統合失調症患者の自殺予防

○井上 佳祐

横浜市立大学精神医学教室

### SY7-3 病院内の自殺予防と事後対応のための教育研修

○河西 千秋<sup>1,3)</sup>、大塚 耕太郎<sup>2,3)</sup>

1) 札幌医科大学医学部神経精神医学講座、2) 岩手医科大学神経精神科学講座、3) 日本自殺予防学会

## 市民公開プログラム 学術賞受賞者講演 17:00～17:40

座長：久住 一郎（北海道大学大学院医学研究院 精神医学教室）

## 統合失調症のゲノム研究 ～新規治療法開発を目指して～

木村 大樹 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

## 統合失調症を含む精神疾患をもつ患者に対する支援のあり方に関する研究

金原 明子 東京大学 大学院医学系研究科 精神医学分野

## 市民公開プログラム 市民公開講座 17:40～18:30

座長：久住 一郎（北海道大学大学院医学研究院 精神医学教室）

## 統合失調症を持つ人の専門知に学ぶ —当事者研究から見えてきた統合失調症を持つ人たちの生きる世界

向谷地 生良 北海道医療大学看護福祉学研究科

### 第3会場（1F 第1会議室）

## ランチョンセミナー6 12:25～13:25

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

座長：河西 千秋（札幌医科大学医学部神経精神医学講座 主任教授）

## 統合失調症患者のメタボリックシンドロームと心電図異常への対応

### LS6 鈴木 雄太郎

医療法人敬愛会末広橋病院 精神科

新潟大学医歯学総合病院 精神科

# ポスターセッション1 プログラム

第1日目 2019年4月19日(金) 16:30~17:45

ポスター会場 (1Fホール)

**P1-1** [遺伝子/死後脳] 16:30~17:45

座長：尾崎 紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学・親と子どもの心療学分野  
名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センター長・遺伝カウンセリング部門長)

## **P1-1-1** 22q11.2欠失症候群を持つ本人および家族への統合的支援モデル構築にむけたコホート研究：研究計画

○森島 遼<sup>1)</sup>、熊倉 陽介<sup>2,3)</sup>、金原 明子<sup>1,2)</sup>、大河内 範子<sup>2)</sup>、中島 直美<sup>2)</sup>、濱田 純子<sup>2)</sup>、小川 知子<sup>4)</sup>、田宗 秀隆<sup>1,5)</sup>、神出 誠一郎<sup>1,2)</sup>、金生 由紀子<sup>4)</sup>、笠井 清登<sup>1,2)</sup>

- 1) 東京大学大学院 医学系研究科 脳神経医学専攻 精神医学分野
- 2) 東京大学医学部附属病院精神神経科
- 3) 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野
- 4) 東京大学医学部附属病院こころの発達診療部
- 5) 東京大学大学院医学系研究科神経細胞生物学分野

## **P1-1-2** トランジション (成人期への移行) と病名告知：22q11.2欠失症候群メンタルヘルス専門外来の経験から

○熊倉 陽介<sup>1,2)</sup>、濱田 純子<sup>2)</sup>、小川 知子<sup>3)</sup>、大河内 範子<sup>2)</sup>、中島 直美<sup>2)</sup>、金原 明子<sup>2)</sup>、森島 遼<sup>2)</sup>、田宗 秀隆<sup>2,4)</sup>、市橋 香代<sup>2)</sup>、神出 誠一郎<sup>2)</sup>、金生 由紀子<sup>3)</sup>、笠井 清登<sup>2)</sup>

- 1) 東京大学大学院 医学系研究科 精神保健学分野
- 2) 東京大学 医学部附属病院 精神神経科
- 3) 東京大学 医学部附属病院 こころの発達診療部
- 4) 東京大学大学院 医学系研究科 神経細胞生物学分野

## **P1-1-3** 福島精神疾患ブレインバンクにおける自殺予防の取り組み

○泉 竜太<sup>1)</sup>、國井 泰人<sup>1,2)</sup>、渡邊 千明<sup>1)</sup>、長岡 敦子<sup>1,3)</sup>、日野 瑞城<sup>1)</sup>、矢部 博興<sup>1)</sup>

- 1) 福島県立医科大学 医学部 神経精神医学講座
- 2) 福島県立医科大学 会津医療センター
- 3) 一般財団法人 大原記念財団 清水病院

## **P1-1-4** 統合失調症患者死後脳におけるスフィンゴ脂質代謝変化とスフィンゴ脂質シグナル経路の病態メカニズムへの関与の解析

○江崎 加代子<sup>1)</sup>、渡辺 明子<sup>1)</sup>、岩山 佳美<sup>1)</sup>、島本 知英<sup>1)</sup>、大羽 尚子<sup>1)</sup>、平林 義雄<sup>2)</sup>、Brian Dean<sup>3)</sup>、吉川 武男<sup>1)</sup>

- 1) 国立研究開発法人理化学研究所 脳神経科学研究センター 分子精神遺伝研究チーム
- 2) 順天堂大学 環境医学研究所
- 3) The Florey Institute of Neuroscience and Mental Health, Australia

## **P1-1-5** 統合失調症の前頭極と線条体におけるドパミントランスポーターの変化：死後脳研究

○関口 裕孝<sup>1)</sup>、Geoff Pavey<sup>2)</sup>、Brian Dean<sup>2)</sup>

- 1) 桶狭間病院藤田こころケアセンター
- 2) The Florey Institute of Neuroscience and Mental Health

## **P1-1-6 Polymorphisms of dopamine d2 receptor (DRD2) and dopamine transporter (DAT) gene on response therapy of schizophrenia patients**

○ Saidah Syamsuddin

Psychiatry Department, Medical Faculty, Hasanuddin University

## **P1-2 [生化/薬理/副作用1] 16:30~17:45**

座長：古郡 規雄（獨協医科大学精神神経医学講座）

### **P1-2-1 クロザピン誘発性流涎症の発現リスク因子と治療法の探索**

○石川 修平<sup>1,2)</sup>、小林 正紀<sup>1)</sup>、橋本 直樹<sup>4)</sup>、三上 英明<sup>3)</sup>、山田 武宏<sup>1)</sup>、  
久住 一郎<sup>4)</sup>、井関 健<sup>1,2)</sup>

1) 北海道大学病院 薬剤部

2) 北海道大学 大学院薬学研究院

3) 北海道大学 薬学部

4) 北海道大学病院 精神科神経科

### **P1-2-2 クロザピン投与後2週間以内に急性肺炎をきたした治療抵抗性統合失調症4例の検討**

○藤田 康孝<sup>1)</sup>、別所 千枝<sup>2)</sup>、矢田 博己<sup>1)</sup>、中村 勝<sup>3)</sup>、佐藤 悟朗<sup>1)</sup>

1) 医療法人社団更生会草津病院精神科

2) 医療法人社団更生会草津病院薬局課

3) 医療法人社団更生会草津病院内科

### **P1-2-3 Blonanserin「テープ製剤」および「錠剤」の安全性検討**

○中村 洋<sup>1)</sup>、石郷岡 純<sup>2)</sup>、井上 善文<sup>1)</sup>、萩 勝彦<sup>1)</sup>、野坂 忠史<sup>1)</sup>、岩田 伸生<sup>3)</sup>

1) 大日本住友製薬株式会社 メディカルアフェアーズ部

2) CNS薬理研究所

3) 藤田医科大学医学部

### **P1-2-4 低好中球血症が続く治療抵抗性統合失調症へのclozapine導入のための対処戦略**

○高信 径介<sup>1)</sup>、橋本 直樹<sup>1)</sup>、石川 修平<sup>2)</sup>、横浜 愛<sup>1)</sup>、岡 松彦<sup>1)</sup>、伊藤 侯輝<sup>1)</sup>、  
久住 一郎<sup>1)</sup>

1) 北海道大学病院 精神科神経科

2) 北海道大学病院 薬剤部

### P1-3-1 At-risk mental state および統合失調症における眼窩前頭皮質の脳溝数減少と社会一認知機能の関連

○高橋 努<sup>1)</sup>、中村 美保子<sup>1)</sup>、西川 祐美子<sup>1)</sup>、小森 祐子<sup>1)</sup>、西山 志満子<sup>1)</sup>、高柳 陽一郎<sup>1)</sup>、古市 厚志<sup>1)</sup>、木戸 幹雄<sup>1)</sup>、笹林 大樹<sup>1)</sup>、樋口 悠子<sup>1)</sup>、野口 京<sup>2)</sup>、鈴木 道雄<sup>1)</sup>

- 1) 富山大学 大学院医学薬学研究部 神経精神医学講座
- 2) 富山大学 大学院医学薬学研究部 放射線診断・治療学講座

### P1-3-2 at-risk mental state における脳梁体積の減少：多施設共同研究

○笹林 大樹<sup>1)</sup>、高柳 陽一郎<sup>1)</sup>、高橋 努<sup>1)</sup>、片桐 直之<sup>2)</sup>、佐久間 篤<sup>3)</sup>、小原 千佳<sup>3)</sup>、小池 進介<sup>4)</sup>、中村 美保子<sup>1)</sup>、古市 厚志<sup>1)</sup>、木戸 幹雄<sup>1)</sup>、西川 祐美子<sup>1)</sup>、野口 京<sup>5)</sup>、山末 英典<sup>4,6)</sup>、松本 和紀<sup>3)</sup>、水野 雅文<sup>2)</sup>、笠井 清登<sup>4)</sup>、鈴木 道雄<sup>1)</sup>

- 1) 富山大学 大学院医学薬学研究部 神経精神医学講座
- 2) 東邦大学 医学部 精神神経医学講座
- 3) 東北大学 大学院医学系研究科 精神医学分野
- 4) 東京大学 大学院医学系研究科 精神医学分野
- 5) 富山大学 大学院医学薬学研究部 放射線診断・治療学講座
- 6) 浜松医科大学 医学部 精神神経医学講座

### P1-3-3 Labeled cortical distance mapping を用いた ARMS 群における側頭平面の形態研究

○高柳 陽一郎<sup>1)</sup>、Sue Kulason<sup>2)</sup>、笹林 大樹<sup>1)</sup>、高橋 努<sup>1)</sup>、古市 厚志<sup>1)</sup>、木戸 幹雄<sup>1)</sup>、西川 祐美子<sup>1)</sup>、中村 美保子<sup>1)</sup>、片桐 直之<sup>3)</sup>、佐久間 篤<sup>4)</sup>、小原 千佳<sup>4)</sup>、野口 京<sup>5)</sup>、松本 和紀<sup>4)</sup>、水野 雅文<sup>3)</sup>、Tilak Ratnanather<sup>2)</sup>、鈴木 道雄<sup>1)</sup>

- 1) 富山大学大学院 医学薬学研究部 神経精神医学講座
- 2) Center for Imaging Sciences, Johns Hopkins University
- 3) 東邦大学 医学部 精神神経医学講座
- 4) 東北大学大学院 医学系研究科 精神医学分野
- 5) 富山大学大学院 医学薬学研究部 放射線診断・治療学講座

### P1-3-4 Differences of the gray and white matter volumes in the cerebellar subregions between schizophrenia and autism spectrum disorder

○Chie Morimoto<sup>1)</sup>、Walid Yassin<sup>2)</sup>、Naohiro Okada<sup>1)</sup>、Hidenori Yamasue<sup>3)</sup>、Kiyoto Kasai<sup>1)</sup>、Shinsuke Koike<sup>4)</sup>

- 1) Department of Neuropsychiatry, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
- 2) Department of Child Neuropsychiatry, School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
- 3) Department of Psychiatry, The University of Hamamatsu School of Medicine, Shizuoka, Japan
- 4) University of Tokyo Institute for Diversity & Adaptation of Human Mind (UTIDAHM), The University of Tokyo, Tokyo, Japan

### P1-3-5 Investigating alternation of white matter structure in Schizophrenia using Fixel-based analysis

○Akiko Uematsu<sup>1,2)</sup>、Hidenori Yamasue<sup>4)</sup>、Kiyoto Kasai<sup>3)</sup>、Shinsuke Koike<sup>1)</sup>

- 1) Graduate School of Arts and Science Center for Evolutionary Cognitive Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan
- 2) Laboratory for Marmoset Neural Architecture, CBS, RIKEN, Wako, Japan
- 3) Department of Neuropsychiatry, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan
- 4) Department of Psychiatry, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan

**P1-4-1 統合失調症早期段階におけるガンマオシレーションは将来の社会適応レベルを予測する**

○白井 香<sup>1)</sup>、越山 太輔<sup>1)</sup>、切原 賢治<sup>1)</sup>、多田 真理子<sup>1)</sup>、藤岡 真生<sup>1)</sup>、小池 進介<sup>1,2)</sup>、  
管 心<sup>1,3)</sup>、荒木 剛<sup>1)</sup>、笠井 清登<sup>1)</sup>

- 1) 東京大学大学院 医学系研究科 精神医学分野
- 2) 東京大学 こころの多様性と適応の統合的研究機構
- 3) 東京大学 医学部附属病院 リハビリテーション部

**P1-4-2 Intelligence Decline between Present and Premorbid IQ in Schizophrenia: Schizophrenia Non-Affected Relative Project (SNARP)**

○Kazutaka Ohi<sup>1,2)</sup>、Takamitsu Shimada<sup>1)</sup>、Yuzuru Kataoka<sup>1)</sup>、Yoko Koide<sup>1)</sup>、  
Takashi Uehara<sup>1)</sup>、Hiroaki Okubo<sup>1)</sup>、Yasuhiro Kawasaki<sup>1)</sup>

- 1) Department of Neuropsychiatry, Kanazawa Medical University, Ishikawa, Japan
- 2) Medical Research Institute, Kanazawa Medical University, Ishikawa, Japan

**P1-4-3 統合失調症に対する認知矯正療法が脳の神経活動に与える影響**

○井上 貴雄<sup>1)</sup>、橋本 直樹<sup>2)</sup>、宮崎 茜<sup>2)</sup>、豊巻 敦人<sup>2)</sup>、武井 早紀<sup>3)</sup>、久住 一郎<sup>2)</sup>

- 1) 北海道大学大学院保健科学研究院
- 2) 北海道大学大学院医学研究院精神医学教室
- 3) 北海道大学病院リハビリテーション部

**P1-4-4 統合失調症者における顔-声情報統合機能異常についての脳磁図研究**

○中村 一太、平野 羊嗣、平野 昭吾、鬼塚 俊明

九州大学大学院医学研究院 精神病態医学

**P1-4-5 初期統合失調症患者の意味記憶構造の縦断的变化：ナショナルセンター病院における検討**

○吉村 直記<sup>1)</sup>、住吉 チカ<sup>2)</sup>、松井 眞琴<sup>1)</sup>、福田 優菜<sup>1)</sup>、長谷川 由美<sup>3)</sup>、  
安達 伶音奈<sup>1)</sup>、竹田 和良<sup>1)</sup>、池澤 聡<sup>1)</sup>、中込 和幸<sup>1)</sup>、住吉 太幹<sup>3)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター病院
- 2) 福島大学人間発達文化学類
- 3) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部

**P1-4-6 Association between dysfunction of autonomic nervous system activity and mortality in elderly patients with schizophrenia**

○Saki Hattori<sup>1)</sup>、Akira Suda<sup>1)</sup>、Ikuko Kishida<sup>1,2)</sup>、Masatoshi Miyauchi<sup>1)</sup>、  
Yohko Shiraishi<sup>1)</sup>、Mami Fujibayashi<sup>3)</sup>、Natsuki Tsujita<sup>4)</sup>、Chie Ishii<sup>2)</sup>、  
Norio Ishii<sup>2)</sup>、Kazushige Hirakawa<sup>5)</sup>、Mika Omote<sup>5)</sup>、Tadashi Fukushima<sup>5)</sup>、  
Takashi Saeki<sup>5)</sup>、Toshio Moritani<sup>6)</sup>、Yoshio Hirayasu<sup>7)</sup>

- 1) Department of Psychiatry, Yokohama City University School of Medicine, Yokohama, Japan
- 2) Fujisawa Hospital, Fujisawa, Japan
- 3) Setsunan University, Osaka, Japan
- 4) Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University, Kyoto, Japan
- 5) Asahinooka Hospital, Yokohama, Japan
- 6) Kyoto Sangyo University, Kyoto, Japan
- 7) Hirayasu Hospital, Urazoe, Japan

**P1-5-1 大学病院におけるピアスタッフ雇用実現へ向けた組織的取り組み～ organizational change実現を目指して～**

- 藤枝 由美子<sup>1)</sup>、石橋 綾<sup>1)</sup>、清水 希実子<sup>1)</sup>、矢島 明佳<sup>1)</sup>、株元 麻美<sup>1)</sup>、飯田 美恵<sup>2)</sup>、佐藤 信子<sup>2)</sup>、西村 聡彦<sup>3)</sup>、佐藤 由美子<sup>4)</sup>、金原 明子<sup>5)</sup>、森田 健太郎<sup>4,5)</sup>、管 心<sup>1,4)</sup>、笠井 清登<sup>4,5)</sup>、芳賀 信彦<sup>1)</sup>
- 1) 東京大学 医学部 附属病院 リハビリテーション部 精神科デイホスピタル
  - 2) 東京大学医学部附属病院看護部
  - 3) 日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科
  - 4) 東京大学医学部附属病院精神神経科
  - 5) 東京大学大学院医学系研究科精神医学分野

**P1-5-2 統合失調症をもつ男性におけるピアサポートグループへの参加とリカバリーのプロセス**

- 横山 和樹<sup>1,2)</sup>、矢部 滋也<sup>2,3)</sup>、森元 隆文<sup>1)</sup>、池田 望<sup>1)</sup>
- 1) 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科
  - 2) 一般社団法人 北海道ピアサポート協会
  - 3) 多機能型事業所 PEER+design

**P1-5-3 英国メリデン版訪問家族支援における情報共有がもたらす影響～単家族を対象とした関わりの効果～**

- 吉野 賀寿美<sup>1)</sup>、佐藤 純<sup>2)</sup>、酒井 一浩<sup>3)</sup>
- 1) 医療法人社団 五稜会病院
  - 2) 京都ノートルダム女子大学 現代人間学部
  - 3) おおえメンタルクリニックゆう デイケア

**P1-5-4 患者、家族向け統合失調症心理教育の効果研究**

- 秋谷 絵理<sup>1)</sup>、橋本 直樹<sup>2)</sup>、梅林 秀行<sup>3)</sup>、豊田 洋平<sup>3)</sup>、佐藤 藍<sup>3)</sup>、村上 翠<sup>3)</sup>、太田 薫<sup>3)</sup>、石川 修平<sup>4)</sup>、富永 巧<sup>5)</sup>、井上 貴雄<sup>6)</sup>、成田 学<sup>7)</sup>、照井 涼子<sup>1)</sup>、斉藤 かおり<sup>1)</sup>、高信 径介<sup>2)</sup>、岡 松彦<sup>2)</sup>、賀古 勇輝<sup>2)</sup>、久住 一郎<sup>2)</sup>
- 1) 北海道大学病院 医療技術部
  - 2) 北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野精神医学教室
  - 3) 北海道大学病院看護部
  - 4) 北海道大学病院薬剤部
  - 5) 北海道大学病院リハビリテーション部
  - 6) 北海道大学医学部保健学科
  - 7) KKR札幌医療センター

**P1-5-5 再入院を繰り返す統合失調症患者の主体性を高める支援の探求**

- 杉山 悠
- 訪問看護ステーションKAZOC (かぞっく)

**P1-6-1 重い統合失調症を持つ人にも利用可能な簡便な主体性に関する尺度の開発**

○山口 創生<sup>1)</sup>、塩澤 拓亮<sup>1)</sup>、松長 麻美<sup>1)</sup>、澤田 宇多子<sup>2)</sup>、種田 綾乃<sup>3)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部

2) 東京大学 大学院医学系研究科 精神看護学分野

3) 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部

**P1-6-2 長期入院統合失調症者の対人関係機能障害に陰性症状が与える影響 ～対人関係機能障害と陰性症状の重症度に関する探索的研究～**

○岡田 宏基、廣 志穂、渡部 誠一、石井 里沙、服部 慎吾

那須高原病院 作業療法室

**P1-6-3 病因の異なる多種精神疾患で統合失調症様の幻覚妄想が出現する現象について**

○佐々木 康史

三次病院

**P1-6-4 緊張型統合失調症の特徴**

○長沼 英俊

雁の巣病院 精神科

# ポスターセッション2 プログラム

第2日目 2019年4月20日(土) 13:00~14:45

ポスター会場 (1F ホール)

**P2-1** [生化/薬理/副作用2] 13:00~14:45

座長：吉村 玲児 (産業医科大学医学部精神医学教室)

## **P2-1-1** 栄養環境と遺伝的要因の組み合わせにより生じる新たな統合失調症モデルマウスの作製とその発症機序の解析

○平井 志伸<sup>1)</sup>、新井 誠<sup>2)</sup>、三輪 秀樹<sup>3)</sup>、國井 泰人<sup>4,5)</sup>、日野 瑞城<sup>4)</sup>、長岡 敦子<sup>4)</sup>、矢部 博興<sup>4)</sup>、岡戸 晴生<sup>1)</sup>

- 1) 東京都医学総合研究所
- 2) 東京都医学総合研究所 精神行動医学分野 統合失調症プロジェクト
- 3) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所精神薬理研究部 分子精神薬理研究室
- 4) 福島県立医科大学 医学部 神経精神医学講座
- 5) 福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座

## **P2-1-2** 統合失調症の不安抑うつ症状に対する *Bifidobacterium breve* A1 の効果に関する検討: A proof-of-concept study

○大久保 亮<sup>1,2)</sup>、古賀 農人<sup>2)</sup>、勝又 紀子<sup>3)</sup>、小田巻 敏孝<sup>3)</sup>、松山 詩菜<sup>2)</sup>、岡 松彦<sup>2)</sup>、成田 尚<sup>2)</sup>、橋本 直樹<sup>2)</sup>、久住 一郎<sup>2)</sup>、松岡 豊<sup>1)</sup>

- 1) 国立がん研究センター 社会と健康研究センター 健康支援研究部
- 2) 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室
- 3) 森永乳業株式会社研究本部基礎研究所

## **P2-1-3** 統合失調症患者における血清葉酸濃度の検討

○富岡 有紀子<sup>1)</sup>、中瀧 理仁<sup>1)</sup>、梅原 英裕<sup>1)</sup>、渡部 真也<sup>2)</sup>、沼田 周助<sup>2)</sup>、大森 哲郎<sup>2)</sup>

- 1) 徳島大学病院 精神科神経科
- 2) 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 精神医学分野

## **P2-1-4** 非定型抗精神病薬の服用中に鼻出血を認めた2例

○古市 厚志<sup>1)</sup>、大口 善睦<sup>1)</sup>、立野 貴大<sup>1)</sup>、鎗野 宏彦<sup>2)</sup>、在田 幸太郎<sup>3)</sup>、高柳 陽一郎<sup>1)</sup>、高橋 努<sup>1)</sup>、鈴木 道雄<sup>1)</sup>

- 1) 富山大学附属病院 神経精神科
- 2) 富山大学大学院医学薬学研究部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座
- 3) 富山大学大学院医学薬学研究部 消化器造血管腫瘍制御内科学

**P2-2-1 統合失調症患者における予測誤差と自己主体感の脳処理：機能的MRI研究**

○阿部 光一<sup>1,2)</sup>、杉浦 元亮<sup>1,3)</sup>、菊池 達郎<sup>4)</sup>、佐久間 篤<sup>4)</sup>、松岡 洋夫<sup>2)</sup>、川島 隆太<sup>1)</sup>、松本 和紀<sup>2)</sup>

- 1) 東北大学 加齢医学研究所
- 2) 東北大学 医学系研究科 精神神経学分野
- 3) 東北大学 災害科学国際研究所
- 4) 東北大学病院 精神科

**P2-2-2 統合失調症における視床の機能的結合の異常と注意障害との関連**

○山本 真江里<sup>1)</sup>、久島 周<sup>1)</sup>、鈴木 亮平<sup>1)</sup>、Branko Aleksic<sup>1)</sup>、河野 直子<sup>1,3)</sup>、稲田 俊也<sup>1)</sup>、飯高 哲也<sup>2)</sup>、尾崎 紀夫<sup>1)</sup>

- 1) 名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学分野
- 2) 名古屋大学 脳とこころの研究センター
- 3) 名古屋大学 未来社会創造機構

**P2-2-3 Disrupted pallidum functional networks were associated with psychiatric disorders**

○Yuko Nakamura<sup>1)</sup>、Naohiro Okada<sup>3)</sup>、Shinsuke Koike<sup>2)</sup>

- 1) Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
- 2) University of Tokyo Institute for Diversity & Adaptation of Human Mind, Tokyo, Japan
- 3) Department of Neuropsychiatry, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan

**P2-2-4 Dysregulated affective processing and reward-based decision making in schizophrenia**

○Hong-Hsiang Liu

Psychology Department/National Taiwan University

**P2-2-5 Antipsychotic discontinuation in first-episode psychosis: a prospective study with [<sup>18</sup>F]DOPA and [<sup>11</sup>C]raclopride PET**

○Seoyoung Kim

Research and clinical fellow, Department of Neuropsychiatry, Seoul National University Bundang Hospital, Gyeonggi, Republic of Korea

**P2-2-6 近赤外線スペクトロスコピー信号と人口動態・服薬量・症状の関係：大規模疾患横断解析**

○小池 進介<sup>1)</sup>、榑原 英輔<sup>2)</sup>、里村 嘉弘<sup>2)</sup>、笠井 清登<sup>2)</sup>

- 1) 東京大学大学院総合文化研究科
- 2) 東京大学医学部精神神経科

**P2-3-1 Social cognition deficits as a target of early intervention for psychoses: A systematic review**

○Yuji Yamada<sup>1,2,3)</sup>、Takuma Inagawa<sup>1)</sup>、Madoka Matsumoto<sup>2)</sup>、Kazuki Sueyoshi<sup>2)</sup>、Norio Sugawara<sup>3)</sup>、Natsuki Ueda<sup>3)</sup>、Yoshie Omachi<sup>1)</sup>、Naotsugu Hirabayashi<sup>1)</sup>、Tomiki Sumiyoshi<sup>2)</sup>

1) Department of Psychiatry, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan

2) Department of Preventive Intervention for Psychiatric Disorders, National Institute of Mental Health, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan

3) Department of Clinical Epidemiology, Translational Medical Center, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan

**P2-3-2 統合失調症の社会認知機能の包括的検査バッテリー ABCDの成績と社会機能との関連**

○丹羽 真一<sup>1)</sup>、國井 泰人<sup>1)</sup>、星野 大<sup>2)</sup>

1) 福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座

2) 福島県立医科大学 医学部 神経精神医学講座

**P2-3-3 メタ認知トレーニング実施が自己洞察に与える影響について**

○林 良太<sup>1,2)</sup>、中島 美鈴<sup>1)</sup>、長尾 海里<sup>1)</sup>、永井 愛夏<sup>1)</sup>、四海 真理子<sup>1)</sup>

1) 医療法人杏和会 阪南病院

2) 大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究所 博士後期課程

**P2-3-4 統合失調症患者の表情認知とメタ認知に関連する要因の検討**

○森元 隆文<sup>1)</sup>、横山 和樹<sup>1)</sup>、國田 幸治<sup>2)</sup>、小竹 玲子<sup>2)</sup>、佐藤 静佳<sup>2)</sup>、小笠原 啓人<sup>2)</sup>、中村 直子<sup>2)</sup>、松山 清治<sup>1)</sup>、池田 望<sup>1)</sup>

1) 札幌医科大学 保健医療学部 作業療法学科

2) (特定) 医療法人社団 林下病院

**P2-3-5 MTCR (音楽を取り入れた統合失調症の認知矯正療法) による認知機能障害の改善と被験者の属性について**

○小杉 尚子<sup>1)</sup>、押山 千秋<sup>2)</sup>、児玉 直樹<sup>3)</sup>、丹羽 真一<sup>4)</sup>

1) 東京医療保健大学 医療保健学部 医療情報学科

2) 国立研究開発法人 産業技術総合研究所

3) 新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科

4) 福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座

**P2-3-6 精神科リハビリテーションにおけるPurdue Pegboard testの有用性 – 認知機能検査との関連 –**

○佐藤 なるみ<sup>1)</sup>、井上 貴雄<sup>2)</sup>、富永 巧<sup>1)</sup>、武井 早紀<sup>1)</sup>、西川 玲奈<sup>1)</sup>、北川 寛<sup>3)</sup>、橋本 直樹<sup>3)</sup>、久住 一郎<sup>3)</sup>

1) 北海道大学病院 リハビリテーション部

2) 北海道大学 大学院 保健科学研究所 生活機能学分野

3) 北海道大学 大学院 医学研究科 神経病態学講座 精神医学分野

**P2-4-1 日本版精神障害者訪問家族支援研修プログラムの効果的实施に関する研究**

○佐藤 純<sup>1)</sup>、吉野 賀寿美<sup>2)</sup>、酒井 一浩<sup>3)</sup>

1) 京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 福祉生活デザイン学科

2) 医療法人社団五稜会病院

3) 医療法人社団博仁会 おおえメンタルクリニックゆう

**P2-4-2 北海道大学病院デイケアクリニカルパス～運用3年における成果とその課題～**

○照井 涼子<sup>1)</sup>、橋本 直樹<sup>2)</sup>、秋谷 絵理<sup>1)</sup>、石塚 麻伊子<sup>1)</sup>、斉藤 かおり<sup>1)</sup>、  
吉田 真桜<sup>1)</sup>、松原 美希<sup>1)</sup>、成田 学<sup>3)</sup>、藤田 真善美<sup>4)</sup>、北川 寛<sup>2)</sup>、賀古 勇輝<sup>2)</sup>、  
久住 一郎<sup>2)</sup>

1) 北海道大学病院 医療技術部

2) 北海道大学大学院医学研究院 精神医学教室

3) KKR札幌医療センター

4) 北海道大学病院 看護部

**P2-4-3 若年統合失調症者を対象とした通過型デイケアでのco-productionによる就労準備プログラムの実践**

○矢島 明佳<sup>1)</sup>、金田 智代<sup>1)</sup>、藤枝 由美子<sup>1)</sup>、清水 希実子<sup>1)</sup>、石橋 綾<sup>1)</sup>、  
株元 麻美<sup>1)</sup>、飯田 美恵<sup>2)</sup>、佐藤 信子<sup>2)</sup>、管 心<sup>1,3)</sup>

1) 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部精神科デイホスピタル

2) 東京大学医学部附属病院看護部

3) 東京大学医学部精神医学教室

**P2-4-4 外来精神科作業療法への参加により社会機能が改善した治療抵抗性統合失調症患者**

○長島 泉<sup>1,3)</sup>、今村 弥生<sup>2,3)</sup>、早坂 友成<sup>1,2,3)</sup>、千野 貴子<sup>3)</sup>、坪井 貴嗣<sup>2,3)</sup>、  
二田 未来<sup>2,3)</sup>、片桐 建志<sup>2,3)</sup>、野崎 和博<sup>2,3)</sup>、高江洲 義和<sup>2,3)</sup>、渡邊 衡一郎<sup>2,3)</sup>

1) 杏林大学 保健学部 作業療法学科

2) 杏林大学 医学部 精神神経科学教室

3) 杏林大学医学部附属病院

**P2-5-1 The combination pattern of the subclinical characteristics in schizophrenia childhood**○Yukiko Hamasaki<sup>1)</sup>、Takatoshi Hikida<sup>2)</sup>、Toshiya Murai<sup>3)</sup>

1) Faculty for the Study of Contemporary Society, Kyoto Women's University, Kyoto, Japan

2) Institute for Protein Research, Osaka University, Osaka, Japan

3) Department of Psychiatry, Kyoto University, Kyoto, Japan

**P2-5-2 思春期発来前後での思春期精神病症状体験と自殺関連行動・抑うつ症状の関係～思春期出生コホートによるエビデンス**○山崎 修道<sup>1)</sup>、安藤 俊太郎<sup>2)</sup>、遠藤 香織<sup>1)</sup>、小池 進介<sup>3)</sup>、長谷川 眞理子<sup>4)</sup>、笠井 清登<sup>2)</sup>、西田 淳志<sup>1)</sup>

1) 公益財団法人 東京都医学総合研究所

2) 東京大学 大学院医学系研究科

3) 東京大学 こころの多様性と適応の統合的研究機構

4) 総合研究大学院大学

**P2-5-3 日本語版BNSSの信頼性、妥当性評価**

○橋本 直樹、岡 松彦、高信 径介、成田 尚、北川 寛、宇土 仁木、前田 珠希、渡辺 晋也、大柳 有加、宮崎 茜、伊藤 侯輝、久住 一郎

北海道大学病院 精神科神経科

**P2-5-4 統合失調症患者の記憶の組織化に対する経頭蓋直流刺激の改善効果**○住吉 チカ<sup>1)</sup>、成田 瑞<sup>2)</sup>、長谷川 由美<sup>3)</sup>、稲川 拓磨<sup>4)</sup>、山田 悠至<sup>5)</sup>、末吉 一貴<sup>3)</sup>、上田 奈津貴<sup>3)</sup>、大町 佳永<sup>6)</sup>、横井 優磨<sup>4)</sup>、住吉 太幹<sup>3)</sup>

1) 福島大学人間発達文化学類

2) ジョンス・ホプキンス公衆衛生大学院

3) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部

4) 国立精神・神経医療研究センター病院 第一精神診療部

5) 国立精神・神経医療研究センター病院 第二精神診療部

6) 国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナル・メディカルセンター

**P2-5-5 東京多摩地域の精神科救急における急性精神病の特性と対応：器質性精神病の鑑別を中心に**○山本 直樹<sup>1)</sup>、市橋 雅典<sup>1)</sup>、廣瀬 友利彬<sup>1)</sup>、玉井 眞一郎<sup>1)</sup>、寺澤 佑哉<sup>1)</sup>、櫻井 薫<sup>1)</sup>、中川 吉丈<sup>1)</sup>、八木 隆志<sup>1)</sup>、日野 慶子<sup>2)</sup>、山口 順嗣<sup>1)</sup>

1) 東京都立多摩総合医療センター 精神神経科

2) 東京都保健医療公社 多摩北部医療センター

**P2-5-6 統合失調症治療に対する治療ガイドライン教育プロジェクト (EGUIDE プロジェクト) の効果 - 過去2年の受講者および参加施設のガイドラインに基づく治療行動達成度の変化からの考察 -**○山田 恒<sup>1,2)</sup>、本山 美久仁<sup>1)</sup>、椎野 智子<sup>2)</sup>、渡邊 衡一郎<sup>3)</sup>、稲田 健<sup>4)</sup>、橋本 亮太<sup>2)</sup>、松永 寿人<sup>1)</sup>

1) 兵庫医科大学 精神科神経科学講座

2) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所精神疾患病態研究部

3) 杏林大学 医学部精神神経科学教室

4) 東京女子医科大学 医学部精神医学講座

**P2-6-1** 7ヶ月間HOTとCOOLな状態の区別をして対応した結果、HOT時の変化を認めた統合失調症患者一事例について

- 渡部 誠一、岡田 宏基  
医療法人慈全会那須高原病院 作業療法

**P2-6-2** 統合失調症の加療中に両側声帯麻痺を来した2例について

- 長岡 敦子<sup>1,2)</sup>、鈴木 喜明<sup>1)</sup>、鈴木 悟<sup>1)</sup>、角田 耕也<sup>1)</sup>、國井 泰人<sup>2,3)</sup>、矢部 博興<sup>2)</sup>  
1) 一般財団法人 大原記念財団 清水病院  
2) 福島県立医科大学 神経精神医学講座  
3) 福島県立医科大学 会津医療センター

**P2-6-3** 膾炙性黒色腫を合併した統合失調症患者において、cancer boardを開催し複数科・多職種により治療方針を検討した一例

- 成田 尚、久住 一郎  
北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野精神医学教室

**P2-6-4** 多種物質乱用歴のある慢性的な幻覚症状の50歳台統合失調症症例の診断・治療と脳波計量解析

- 石川 文之進<sup>1)</sup>、鈴木 三夫<sup>1)</sup>、堀江 茂<sup>1)</sup>、石川 雅枝<sup>1)</sup>、石川 叔郎<sup>1)</sup>、原田 元<sup>2)</sup>、植木 彰<sup>3)</sup>  
1) 医療法人 報徳会 宇都宮病院  
2) 脳波計量解析研究所  
3) 元自治医科大学神経内科教授

**P2-6-5** 入院中の60歳台に殺人未遂事件を起こした統合失調症患者の診断・治療と脳波計量解析

- 鈴木 三夫<sup>1)</sup>、中山 成一<sup>1)</sup>、石川 叔郎<sup>1)</sup>、石川 雅枝<sup>1)</sup>、石川 玄子<sup>1)</sup>、原田 元<sup>2)</sup>、石川 文之進<sup>1)</sup>  
1) 医療法人 報徳会 宇都宮病院  
2) 脳波計量解析研究所